

## 「 Ham Radio Deluxe 」

- \* 「 Ham Radio Deluxe (HRD) 」 ( ハム ・ ラジオ ・ デラックス ) は、一般的に使用されているトランシーバーと受信機を「コンピューターコントロール」する「無料の Windows プログラムのスイート」です。
- \* HRD には、「マッピング ( 地図表示 ) 」 ・ 「人工衛星追跡」と「デジタルモードプログラムの Digital Master 780 ( DM780 ) 」が含まれています。
- \* HRD は、「Windows 2000」と以降の ( XP ・ Vista ・ 7 ) のために「設計」されています。  
また、「インターネット・エクスプローラー 6.0 か以降」が必要です。  
「Windows 98」で「作動します」が、これは、「サポート」されません。
- \* 「方針」は、「マイクロソフト」で供給される「Windows のバージョン」を「サポート」することです

### \* FT-950

新しい「FT-950」が、先週、「Martin Lynch」から「購入」されました。  
これは、ここ「HB9DRV シャック」の「メイン SW ラジオの Elecraft K3」  
( エレクラフト ) に取って代わりました。  
いつものように、この購入には「Chris Taylor ( クリス ) 」に手助けをいただきました。  
本当にありがとうございます。  
・ 2009 年 2 月と 3 月に「多くの拡張がされた FT-950」に期待します。

### \* HRD LOG .net ( ログネット )

「WEB ベースのログブック」が、「IW1QLH.Claudio ( クラウディオ ) 」によって「開発」されました。  
・ すべての「HRD ログブックユーザー」のために「無料!」です。

---

### \* インストール。

インストールは簡単です。  
「ダウンロード」して、「インストール」して、「スタート」するだけです!。

### \* HRD は、「ラジオアマチュア」 ・ 「SWL ( 短波放送聴取者 ) 」と「慈善団体」 には、「無料」です。

「商用」と「政府団体」での使用には、「Simon Brown, HB9DRV ( サイモン ) 」の許可が必要です。

### \* 「提案される最低のコンピューター」仕様は :

- ・ HRD : 500MHz CPU, 512MB RAM と 20MB の「保存ディスク」
- ・ DM 780 : 1GHz CPU, 1024MB RAM と 50MB の「保存ディスク」  
( SSTV 使用の時はそれ以上 )
- ・ 「DM780」は、「信号解読」の時には、「HRD」よりも「多くのリソース ( 資源 ) 」を使います。

( 26/JUL/2009 JA6AQV )

「 **HRD v5 Happenings** : 最新の HRD v.5 」

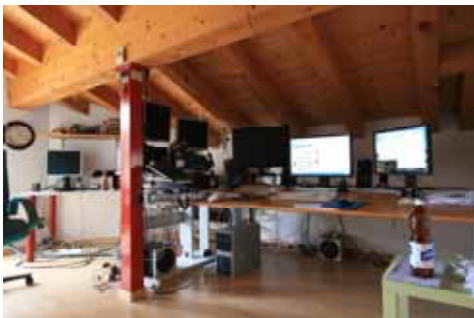
- 2009 年 8 月 3 日
    - \* Bild 2290 Beta
  - 2009 年 7 月 21 日
    - \* Bild 2277 Beta
  - 2009 年 7 月 6 日から 12 日に。
    - \* バグ修正 (固定) : 「 **to-do-list** : 出来事のリスト 」 を参照。
  - 2007 年 7 月 4 日。
    - \* **HRD v5 の最初の公開ベータ** :
      - およそ百万行のソースコード。2.5 年間の激しい開発!
- \* ここから、ダウンロードしてください。

- **The Shack** : シャック  
2009 年 7 月 5 日



- 「シャック」は片付けが必要です。  
これからの 1 週間で行われます。

2009 年 7 月 8 日



- シャックは、「整然」としてあります！。

- 「 **to-do-list** 」 の一部 :
- 最新 . . . . .
  - G4POP** - 更新、2009 年 7 月 11 日 土曜日。
  - バグ : 2009 年 7 月 12 日での「次のリリース」のための「準備」で、  
「リリース・ノート」へ「固定」「移動」しました。
- G4POP** - 2009 年 7 月 5 日 日曜日  
今日は、若干の「バグ」修正を行いました。

## 「HRD V.5 What's New」:

### \* 新しくなったところ

**HRD v5 What's New**

The design of HRD 4.0 was to combine as many features in one executable as possible, however it has become impossible to continue like this for a variety of reasons:

- Running out of development resources,
- The HRD executable becoming too big,
- Making a small change in one area causing problems elsewhere.

To be able to add all user requests in HRD 5.0 the only option was to take key components from HRD 4.0 and make them into standalone programs:

- Rotator support,
- Satellite Tracking,
- Logbook (with DX Cluster, Audio Recorder, Sunspot Data),
- HRDLOG.net - web interface to the new v5 logbook.

Other advantages of this approach are:

- Better support for multiple monitors,
- Central networked logbook - one logbook can be used by many instances of HRD and Digital Master at the same time.

---

### Schedule

The aim is to make kits available as bugs are fixed and new features become available. The target date for the official release of HRD 5.0 is October 1st, 2009 - so that leaves just three months for beta testing.

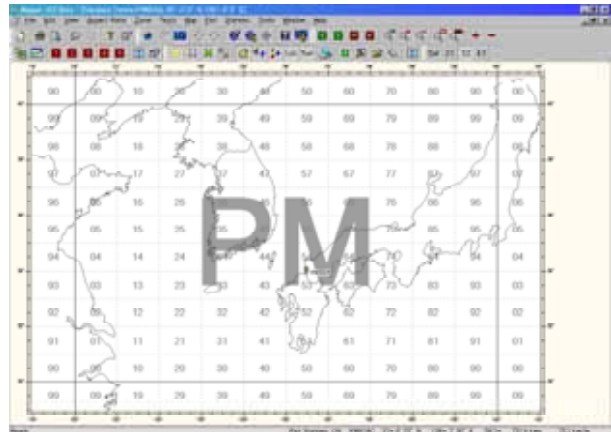
- 「**HRD 4.0 のデザイン**」は、「一つの実行可能なプログラム」に「できる限りの多くの機能を結合するはずでした。しかし、それは、「いろいろな理由」のため、そのように「なし続けることが、不可能に」なりました。
  - \* 「開発リソース」を使い果たします。
  - \* 「HRD 実行可能プログラム」が「大きくなりすぎ」ました。
  - \* 「一カ所のわずかな変更」が「ほかのところでの問題」を引き起こします。
- 「**HRD 5.0**」で、すべてのユーザーの要請を加えることを可能にするための「唯一の選択」は、「**HRD 4.0**」から「**キー・コンポーネント**」取り出して、それらを「**スタンドアローン（独立タイプ）**」のプログラムに「**創る**」ことでした。:
  - \* 「ローテーター」サポート
  - \* 「人工衛星追跡」
  - \* 「ログブック（「DX クラスタ」・「オーディオ・レコーダー」・「サンスポット・データ」とともに）」
  - \* 「**HRDLOG ネット**」
    - 新しい「**V.5 ログブック**」への「**Web インターフェイス**」
- この取り組みの「**他の利点**」は：
  - \* 多くのモニターに対する「**最良のサポート**」。
  - \* 「中央にネットワーク（結合）されたログブック」
    - 一つの「ログブック」が、「同時に,HRD と Digital Master ( 780 )」の多くの事例で「使うことができます」。



\* 「 Satellite tracking 」



\* 「 Mapping 」



\* **Digital Master 780**

- ・ユーザーが「ログオフ」するとき、あるいは「システムのシャットダウン」のときに「きれいに動作を停止する」。
- ・「マクロの Define ( 定義 ) /モード・リスト」のバグ。  
すべてのモードで、選択されていないときでも、常に「CONTESTIA」が外される。

\* **Ham Radio Deluxe**

- ・ IC-7600
- ・ 「 SDR-1000 」を「 PowerSDR 」に「改名」。
- ・ Logbook : ログブック
  - ・ 「 Callsign ( コールサイン )、 「 Country ( カントリー )、 「 IOTA 」、 「 Locator ( ロケーター )」のために、「 Worked status indication : 運用状態表示」を追加。
  - ・ すべての「バンドとモード」のために、「 Callsign, Country, IOTA, Locator と「 CQ Zone ( CQ ソーン )」の「状態表示」をする「 Worked Status 」タブを追加。
  - ・ 「 Bulk Editor ( 一括編集 )」のための「 Backup ( バックアップ )」選択を追加。
- ・ ( CC cluster : CC クラスターのような ) 「精密度 2 あるいは 3 文字返信のクラスター」の問題点の修正。
- ・ 「最初の印刷サポート」を含めての「 Awards : アワード」ウィンドウの改善。
- ・ 「 Rotator : ローター - 」  
「計器が書き直すスピード」に改善が必要。
- ・ 「 Satellite Tracking : 人工衛星追跡」に、  
「 DDE interface : インターフェイス」の「バグ修正」。

( 03/AUG/2009 JA6AQV )

## 「 Ham Radio Deluxe v5.0 Build 2277 Beta 」

2009年7月21日 06:11:49

- \* Logbook (ログブック)
  - ・バグを修正：すべての QSO での「SEND の状態」で「大部分の編集」を「No」(空白)へリセットする。
- \* Rotator (ローテータ)
  - ・高速の CPU の使用で、「画面更新のスピードと解像度」を変更する。  
(28/JUL/2009 JA6AQV)

## 「 Digital Master 780 V5.0 Beta build 2275 」

・2009年7月19日

### 「 Digital Master 780 」

- \* 「ALE」ウインドウ(枠)」には、
  - ・「ALE」ウインドウ(枠)には、「コールサイン」が「自動的に充填され」ます。「枠」は「QRZ データ」のみで、「既存の局のログブック・データ」は無視される。
- \* SSTV
  - ・「消去して、編集する」とき(首尾一貫性が無い)、「TX」ウインドウがクラッシュします。
- \* Various (その他)
  - ・「QSO」ウインドウの「モードリストに「Thor」がミスしている。
  - ・「すべての他のものに「独自性を選択するウインドウ」を保持する。
  - ・「UDF 転送」は、「周波数は、Hz ではなくて MHz でなければなりません。
  - ・「DM780」での「日付ロールオーバー(転覆)問題を「チェック」した。
  - ・「QSO」と「UDF 転送」を加えた。

### 「 Ham Radio Deluxe 」

- \* 一般的。
  - ・「IP サーバーウインドウ」で「同じPCで接続」して、「起動中」であるときは、「stop / start the service : サービスの停止 / 開始」を「クリック」せねばなりません。
  - ・「Ctrl+V」では「ボイスは無効」で、これは、「常時、選択での必要条件」です。
- \* Urgent (緊急)
  - ・「ログブック・全般」の「自動バックアップ・ペースト」機能には、「Ctrl+V」と同様に「Ctrl+Alt+V」に変更して使えます。
  - ・「MySQL」は「バックグラウンド・バックアップ(背面での)」は働きません。  
「バックアップ」のために、(バックアップファイルは、「ZIP 文書」として追加されます)に「ZIP アーカイブ・サポート」を「追加」しました。

(21/JUL/2009 JA6AQV)

\* 「 Digital Master 780 V5.0 Beta build 2268 」

・ 2009 年 7 月 12 日

- ・ 「MCW」クラッシュプログラムを使つての送信
- ・ 「WinKey」は、
  - 「Prog Options / Modes & ID's / CW」タブで表示されます。
  - そして、「Enable Serial COM port keying：シリアルコムポートキーイングを有効」は、「デフォルトでチェックされ」ています。
  - もし「ナビゲーター」を使うのであれば、これは「アンチエック」でなければなりません。
  - さもなければ、「2つの異なる方法のキー」を試行することになります。
  - 「Winkeyで」と「PTT/CWポートでのDTR . bitと」です。
  - 「5.0に切り換えたとき、これを参照することがあれば、このページを「チェック」してください。
- ・ チェックすべき「唯一の事柄」は、ページの「上部」の「Send Space」の項目です。

\* 「DM780」のオープニング中で追加された「独自性の選択機能」

- ・ 「ログブック」に接続するとき、「ログブック・データ・キャッシュをリセット」してください。
- ・ 局を起動した後、その局のための「ツールチップ・キャッシュ」が「クリアされている」ことを確認してください。
- ・ 「ALE」ウインドウが「QSOウインドウ」から、「分離された独立のウインドウを創る」ため、「引きずり去られ」たときには、「ウオーターフォール」に選択された「ラジオ周波数+オーディオ周波数」を示すための「周波数テキストブック」は、「適切にはアップデート（更新）」されることはありません。

\* 「Logbook : ログブック」

\* 「ALE ウインドウ」

- ・ 「ALEウインドウ」に「QSOデータ挿入」のための「QSO」を追加。

ノート：これは「デザイン」によるもので、もし、「ラジオの構成」が「未定義のときは、（モードボタンは、常に「ドロップダウン」です）

「固定」は常に「ドロップダウン」ボタンでロードされます。

\* 「デフォルト RST」は、「599」ではなくて「59」とすべきです。

「デフォルトは、明確にするためにリスト」にします。

\* それぞれの表示の「アンチエック」:

- ・ 「タブ項目」.

・ 「最終のものをアンチエック」すると「ログブックを破壊」います。

\* 「距離と方向計算」は、「それらが正確な値に変更され追加されたとき」は、「ALEウインドウは正確です。

\* 「EQSL」は、「アップロード（更新）」のため正確に働きません。

\* 「Propagation : 伝搬」タブは、「自動充填」ではありません。

もし「データが手作業で登録された」ときは「ログブック」には保存されません

\* 一般的 :

計算された「距離と方向」は、「修正ウインドウ」で正確です。

しかし、それらが「正確な値」に変更され「更新」されたときにです。

それで、「ロジック」は、「修正をする」とき「距離と方向」は、常に「更新されます」。

- ・「数値データタイプ」として「ログブックデータベースに蓄えられた「すべての数値枠」は、「選択とフィルター」を使って「実行」されません。
  
  - ・「ADIF 移入」:
    - 「デフォルト」では、ログに読み込むとき、すべての「QSL / eQSL / LOTW sent / recv」枠は「No」で、新しく「適応」されます。
    - それで、もし「ログに枠がない」ときは、それらは「NO」として「残され」ます。
  
  - ・「アクセス・データベース・バックアップ」のスピードを改善しました。  
大きな「アクセスデータベース」のバックアップをとるとき、「クラッシュ」を「固定」しました。
  
  - ・「ラジオパネル・構成(コンフィギュ)ダイアログ、  
「デフォルトボタンをクリック」したとき、最初のアドレスは「空白」です。  
「枠とポートの設定」: 枠を 0 に。
  
  - ・ログに、「すべての EQLS の日付が「1日前に」入力されます。  
タイムゾーンに依存しますが、「UTC/local」の問題です。  
ログ登録で「ダブルクリック」すると、もう「1日前」の日付を示します。
  
  - ・「バックアップ」ボタンを「ログブック・ツールバー」に追加しました。
  - ・「Create in Background : バックグラウンドで作成」ボタンを、「バックアップ」ウインドウ」の「上部」に追加しました。
- \* スタンドアローン(「HRD の起動以外で)  
追跡不可能にされない限り、「現在の日付、時刻、周波数、バンドとモード」が、「手作業でのデフォルト登録」です。  
「コールサイン」は、「日付・時刻・周波数・バンドとモード」に続いて最初に登録されます。
- \* 「DX クラスタ」
- \* 「AR. ノード (VB7CC ネット。ポート 23) のサポート。

( 19/JUL/2009 JA6AQV )